

	重点目標（数値目標）と方策	自己評価、課題と改善策
【Ⅰ】 学習指導	<p><b>【重点目標（数値目標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「生徒が学ぶ楽しさや意義を見出すことができる」に基づいた授業改善及び教材開発・改善（通年）</li> <li>・「ゲーム概論」の教材開発（検討委員会年4回、次年度補助教材3月末完成）</li> <li>・NPO法人との定例会（月1回）を活用した校内別室指導の利用状況の把握及び取組改善（通年）</li> <li>・授業評価項目「生徒が学ぶ楽しさや意義を見出す」「デジタルとリアルの最適な組合せ」の設定（7月末、2月末）</li> </ul> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマに基づいた授業改善、教材開発・改善を行う。</li> <li>2 デジタル技術を活用し、学び直しから発展的な学びまで、（自由進度学習も含め）個別最適な学びを推進する。</li> <li>3 全科目において、授業評価を実施し、授業改善に活用する。</li> </ol>	<p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導に対する生徒の肯定的意見 84.0% <b>B</b></li> <li>・校内別室指導の定例会（月1回）実施、継続利用2名、一時利用約15～20名/日 <b>B</b></li> <li>・「ゲーム概論」補助教材完成 <b>A</b></li> <li>・「学ぶ楽しさや意義」授業改善・教材開発を実施した教員の割合（7月100%、2月100%実施） 「デジタルとリアルの組合せ」授業改善・教材開発を実施した教員の割合（7月96.0%、2月90.4%実施） <b>A</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                 総合評価 <b>B</b> </div> <p><b>【課題と改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善及び教材開発・改善の継続</li> <li>・校内別室指導の利用の継続的な改善</li> <li>・「ゲーム概論」補助教材の精錬</li> <li>・あらゆる場面での探究的な学習の推進</li> </ul>
【Ⅱ】 進路指導	<p><b>【重点目標（数値目標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動連携先（20ヶ所以上）単位認定希望生徒の履修（10名以上）</li> <li>・インターンシップ協力事業所の開拓（5ヶ所以上）生徒の履修（5名以上）</li> <li>・社会体験活動の単位認定希望生徒の履修（10名以上）</li> <li>・各種検定試験の受検者（のべ120名以上）</li> <li>・探究的な学習の体系化（10月末）、受講登録説明会の円滑実施（11月）、「キャリアノート（仮称）」の改善（2月末）</li> <li>・学習成果発表会の実施（3月）</li> </ul> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「産業社会と人間」「人間と社会」「リテラシー」等を計画に基づき実施するとともに、改善を行う。</li> <li>2 ボランティア活動や社会体験活動等を計画に基づき実施するとともに、改善を行う。</li> <li>3 探究的な学習の体系化、受講登録の整備、「キャリアノート（仮称）」を編集・改善する。</li> </ol>	<p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動連携先（28ヶ所）単位認定希望生徒の履修（2名） <b>B</b></li> <li>・インターンシップ協力事業所（10ヶ所）生徒の履修（21名） <b>A</b></li> <li>・社会体験活動の単位認定希望生徒（2名） <b>B</b></li> <li>・各種検定試験の受検者（351名） <b>A</b></li> <li>・4か年キャリア教育計画の構築における探究的な学習の体系化 <b>B</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                 総合評価 <b>B</b> </div> <p><b>【課題と改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動・インターンシップの連携先の継続開拓</li> <li>・各種検定試験の受検促進</li> <li>・4か年キャリア教育計画の実施及び改善</li> </ul>
【Ⅲ】 生活指導	<p><b>【重点目標（数値目標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が参画できる学校生活・学校行事の指導体制の構築（通年）</li> <li>・いじめに関する指導（通年）、適切なSNS等の活用を含めたセーフティ教室の実施（5月）</li> <li>・生徒が参画できるスポーツデイ（5月）文化祭（11月）の実施</li> </ul> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新入生オリエンテーションや保護者会等の様々な機会、本校指導方針を浸透させるとともに、自己決定の機会を多く設ける。</li> <li>2 いじめの総合対策、人権教育プログラム等に基づいた教員研修及び指導体制の構築を行う。</li> <li>3 生徒が参画できるよう学校生活（部活動）・学校行事の企画を調整する。</li> </ol>	<p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に対する生徒の肯定的意見 92.0% <b>A</b></li> <li>・生徒が参画できる学校生活・学校行事への工夫、生徒会の発足と活性化 <b>B</b></li> <li>・いじめに関する指導、適切なSNS等活用の指導、防災教室などの実施 <b>B</b></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                 総合評価 <b>B</b> </div> <p><b>【課題と改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次・2年次合同の学校行事の円滑実施</li> <li>・生徒会等からの提案・実現による学校生活の改善</li> <li>・セーフティ教室や防災教育の改善</li> </ul>

	重点目標（数値目標）と方策	自己評価、課題と改善策
【Ⅳ】 心身の健康	<p><b>【重点目標（数値目標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な教育相談体制の構築・改善（教育相談委員会4回実施）</li> <li>・ケース会議（毎週）全体ケース会議（月1回）の実施</li> <li>・学校医（精神科医）との連携による自己肯定感の高揚や不登校の減少の研究・実践体制の構築（12月末）</li> <li>・特別支援及び発達障害に関する校内研修の企画・実施（10月末）</li> </ul> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アセスメントに基づいた生徒カルテの作成、家庭連絡・訪問及び面談等のルール作りを行う。</li> <li>2 「校内居場所カフェ」運営及び「図書室」運営を軌道に乗せ、クラス担任・SC・YSW等との組織的な相談体制を構築する。</li> <li>3 学校医（精神科医）との連携による研究・実践を進め、自己肯定感の高揚や不登校の減少の方策を探る。</li> </ol>	<p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科医参加の教育相談委員会4回実施 <b>A</b></li> <li>・ケース会議54回実施、全体ケース会議10回実施による迅速な情報共有と対応検討 <b>A</b></li> <li>・校内居場所カフェ校内研修（4月、3月） <b>B</b></li> </ul> <p>総合評価 <b>A</b></p> <p><b>【課題と改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談委員会の円滑な実施と改善</li> <li>・精神科医と連携した研究と取組の実施</li> <li>・健康づくりに関する学校行事の円滑な実施と改善</li> </ul>
【Ⅴ】 広報活動	<p><b>【重点目標（数値目標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページの更新（30回以上）、学校案内の作成（7月末）</li> <li>・中学校の進路指導研究会等の各所での説明会への参加（8件以上）</li> <li>・学力による入学者選抜の応募倍率 1.5倍以上</li> </ul> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校ホームページの定期的な更新を行う。学校の特色を伝える魅力ある学校案内を作成する。</li> <li>2 新校舎での学校見学会・学校説明会を計画的に実施する。</li> <li>3 中学進路指導研究会や適応指導教室等の各所での説明会への参加、「校内居場所カフェ」「COICOIルーム」体験会等を行う。</li> </ol>	<p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ更新 103回 <b>A</b></li> <li>・研修講師・適応指導教室訪問 22件 <b>A</b></li> <li>・応募倍率2.13倍（学力一次・最終応募倍率） <b>A</b></li> </ul> <p>総合評価 <b>A</b></p> <p><b>【課題と改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内や広報活動方法の改善</li> <li>・自校での説明会の実施方法の検討</li> </ul>
【Ⅵ】 特別活動	<p><b>【重点目標（数値目標）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の円滑設置（10部以上）</li> <li>・スポーツデー（5月）、文化祭（10月）、学習成果発表会（3月）の円滑実施</li> <li>・地域や他校との交流行事の企画・実施（3月末までに）</li> </ul> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 先進校視察を行い、特別活動に関する取組成果と課題分析を行う。</li> <li>2 ボランティア活動、インターンシップ、多様性の理解事業、異文化交流、関係機関や地域と連携した活動の企画・調整・改善を行う。</li> </ol>	<p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の設置（13部） <b>B</b></li> <li>・スポーツデー（5月）、文化祭（10月）、学習成果発表会（3月）の実施 <b>A</b></li> <li>・地域交流実施（学校案内、祭り参加、ゲーム大会）4件 <b>B</b></li> </ul> <p>総合評価 <b>B</b></p> <p><b>【課題と改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会等を活用した学校行事の円滑な実施と改善</li> </ul>
【Ⅶ】 学校運営・組織体制	<p><b>【数値目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織目標・業務進行スケジュールの作成（通年・年2回確認）</li> <li>・月45時間以上超過勤務の教職員0名（自己研鑽の時間を除く。）、年次有給休暇・夏季休暇の取得（全職員・年間20日以上）</li> <li>・学校経営セミナー等や各種研究会への参加、教育機関視察、広報活動への参加（全教職員いずれか1回以上）</li> <li>・服務事故0件（前年度0件）</li> </ul> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 組織目標・役割分担・業務進行スケジュールについて、統一様式を活用し、引継ぎ及び予算を意識した業務進行を行う。</li> <li>2 プロジェクトチームを活用し、具体的な学校課題と解決策を検討し実行する。また、各取組の成果検証と新たな改善を継続して行う。</li> <li>3 管理職から、教職員の超過勤務状況を本人に毎月2回連絡し、超過勤務縮減の意識を高める。</li> <li>4 教職員の各種セミナー・研究会への参加、教育機関視察、広報活動への参加を促進する。</li> <li>5 日々の注意喚起や校内研修等により、法規法令の遵守の意識を向上する。</li> </ol>	<p><b>【自己評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務進捗状況の把握（2回） <b>B</b></li> <li>・月45時間以上の超過勤務（累積2名）、年次有給休暇・夏季休暇取得20日以上（58.8%） <b>B</b></li> <li>・各種研究会・視察等への参加（全員） <b>B</b></li> <li>・服務事故0件 <b>B</b></li> </ul> <p>総合評価 <b>B</b></p> <p><b>【課題と改善策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会での業務進捗状況の把握継続（年2回）</li> <li>・服務事故0件継続</li> <li>・月45時間以上の超過勤務0名</li> <li>・年次有給休暇・夏季休暇取得20日以上取得（100%）</li> </ul>